

“ガス窯作りのプロ集団・大築窯炉工業”の

陶芸家と窯屋を結び超アナログ情報誌

2008・9月号

# 月刊 窯ナビ

必ず良いことがある人のために送る！  
DAICHIKUのお得意様向けニュースレター

ウラ面も情報満載

【発行日】2008年9月30日 【発行人】大築窯炉工業 谷口浩司  
〒309-1611 茨城県笠間市笠間2192-5 TEL0296-72-1444【ホームページ】<http://www.daichiku.jp/>

ユーザーさん登場 木村世傑さん～20年使用した旧大和製ガス窯を修理



趣味のチェロを弾く木村さん  
その他にギターやフルートも

### 【家の中で氷がはった修行時代】

秋元：学生時代の経験や習慣の中で今のお仕事につながることは何ですか？  
木村：中学の時、美術部に入っていました。今でも趣味で絵を描いていますが、それ以上に音楽が好きです。仕事のBGMはいつもクラシックです。  
秋元：いつ現職につきましたか？  
木村：サラリーマンよりも自営業をしたかった私は、会社勤めをしながら週末に笠間、益子に来ていました。益子の陶器組合で四本哲男氏を紹介していただき、そこで修行が始まりました。27歳の時でした。いろいろ経験させていただいた四本さんにはたいへん感謝しています。  
秋元：修行時代、苦労されたことは？  
木村：益子に来たのは秋、すぐに冬になり、寒さで家の中でも氷がはったのは初めての経験でした。栃木弁も最初は理解できず、コミュニケーションに苦労することも多かったです。  
秋元：益子の魅力はどういうところですか？  
木村：木村：仕事がたいへんやりやすいですね。他県から来た人が多いので町の人たちも受け入れることに慣れていると思います。また生まれ変わって、やきものを志す時も益子の土地を選ぶと思います。  
秋元：仕事で疲れた時はどうしていますか？  
木村：仕事が忙しくて逃げ出したくなることもあります。そういう時は‘日帰り温泉’や‘笠間のジャスコ’に行行ってリフレッシュすることを心がけています。独立してから仕事がずっとあるのは、たいへんありがたいことだと思っています。  
秋元：どういうときにやりがいを感じますか？  
木村：展示会などはせず、すべて卸でやっています。お客様に‘安いね！’と言われることが嬉しいです。作品を同業者に真似されても嬉しいです。日常食器が主なので、お手ごろ価格で提供したいと考えています。  
秋元：日ごろ注意していることは？  
木村：とにかく続けられるかぎり“やきもの”をつくりたいと思っています。健康に注意をして、肩の力を抜いて、無心でつくってゆきたいです。

### 【陶歴】

昭和28年 東京都新宿区生まれ  
昭和47年 東京都立文京高校卒  
昭和55年 四本哲男氏に師事  
昭和58年 益子町に築窯独立

### 【大築窯炉先代社長との忘れられない出会いとは】

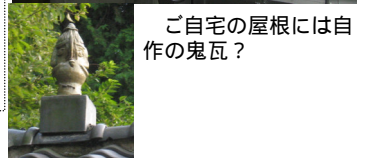
木村：益子に来てちょうど1年が経ったころ、秋の陶器市でロクロの実演をしていました。その時、隣のお店が“古窯”でした。だいちくの前代社長に、「(ロクロ)ちょっと代わってみろっ！」と言われ、代わるや否や、みるみるいろいろのものが手板に乗せられてゆきました。「へたくそな徳もこうすればうまく見えるぞ！」と言い、指で胴と腰のあたりを2箇所押してくれました。それがだいちく先代との最初で最後の出会いでしたがとても印象に残っています。

### 【だいちくの新築窯リニューアルプランはいかがでしたか？】

木村：たいへん満足しています！「だいちくの銘盤」を窯に貼ってもらいたいくらいです。  
秋元：焼成は変化しましたか？  
木村：本焼きを2回しましたが、今まであった温度ムラや、還元ムラも無くなったみたいです。  
敬称は略させていただきます。今回のお話は秋元智香がお聞きしました。



木村さんご愛用のガス窯  
とびらに補強も入れました！



ご自宅の屋根には自作の鬼瓦？

### うれしい！楽しい！大好き！ダイチク！メッセージ！

木村さんはたいへん明るく、自然体のお人柄が作品にも現れていると思いました。仕事が早くスムーズにできるよう、常に工房が整理されている印象でした。やきものを生活の中心にしながらも、音楽や絵画をたしなんでいます。話をすると、ところどころにジョークを交えて相手を飽きさせない心遣いもすばらしいと思います。27年経っても、父とのロクロのやり取りを鮮明に記憶されていて、これを木村さんが話されたときには「人の縁は不思議だなあ」と感じました。ご友人が多く、気分転換できる場所が36箇所もあるという木村さん、人の縁を大事にしている証拠だと思います。愛用のガス窯はきれいに直りましたので、安心してご使用になれると思います。

### 【だいちくの新築窯リニューアルプラン】

- \* 効果抜群のバーナークリーニング・・・1本840円～
- \* 台車修理・・・炉床修正・レンガ張替えなど
- \* とびら修理・・・シール材張替え、色見など
- \* エントツ関連・・・雨もりの修理、建て替えなど

### 【窯の引越・中古窯買取】

窯の引越・移動承ります。また、使用しなくなったガス窯の買取・廃棄処分も承ります。

## ユーザーさんの個展情報

### 田宮亜紀作陶展

10月17日(金)～22日(水)  
無垢里 (代官山)  
東京都渋谷区猿樂町  
20-4  
:03-5458-6991  
(初日PM12:00～  
最終日PM5:00まで)  
在店日17, 18, 19日



### 筒井修作陶展

2008年10月25日(土)～11月7日(金)  
回廊ギャラリー門  
茨城県笠間市笠間2230-1  
0296-71-1507



### 陶人形 高橋協子 福野道隆 共作展

2008年9月14日(日)～23日(火)  
笠間焼 陶歌 笠間市石井918/ 0296-72-7012

## 加藤唐九郎「やきもの随筆」にみる先人の心“窯”編

やきものを称して「一焼き、二土、三細工」と言うことがありますが、先人の文章には意外と窯や窯焚きに関するものは多くありません。加藤唐九郎は「やきもの随筆」の中で「窯」のことを述べている数少ない陶工です。以下はその文章です。

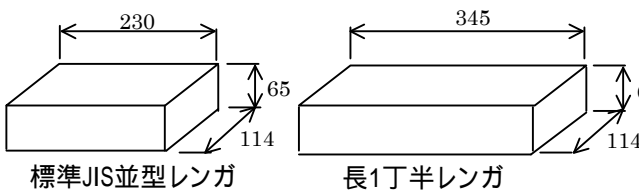
### 窯(一) 陶工は窯にいのちを賭ける

やきもの作りの総仕上げは、なんといっても窯で焼くことです。「一焼き、二土、三細工」まことに陶磁器では、焼きが最も大切であって、それだからこそ「やきもの」というのでしょう。やきものを作る家のことを、「窯屋」と呼ぶのもそのためです。やきものは、土とともに、あるいは土よりも以上に、窯によってその内容が決定されます。私などが幼くしてやきものを習い始めたころでも、もっとも興味があり、切迫した緊張をおぼえたのは、窯を焼くときでした。それ以来六十有余年、やきもの作りをやってきたいまでも、昂奮や不安や、要するに緊張に身がひきしまらずにいないのは窯焼きのときです。いつまでたっても、「思ったとおりまく焼けた！」というようなことはなく、それでいて私をとらえてはなさぬ仕事も、しよせんは窯焼きです。陶工は窯にいのちを賭けました。やきものが封建領主の統制管理下におかれていた時代に、へんぴな山の中でこっそりやきものを焼いた「かくれ窯」というものもあります。瀬戸から京都へ、京都から有田へというふうに、やきものどころを転々として歩く職人もむかしは多かったが、それを「窯ぐれ」とも呼びました。窯という字は、陶工には無限の感慨を呼び起こさせるものです。

## 陶芸窯針盤 耐火レンガと耐火断熱レンガ

陶芸窯に使用されるレンガは大きく分けると2種類あります。「耐火レンガ」と「耐火断熱レンガ」です。耐火レンガは主に登り窯や穴窯などに使用されます。またガス窯や灯油窯の炉床用として使用されます。耐火レンガの耐火度32、34はシャモット質レンガと呼ばれかさ比重は2.0前後～2.3です。また、**圧縮強さは25MPaより大きいのが特徴です。**言い換えると「硬くて重いレンガ」です。「白レンガ」とは耐火レンガの古称です。耐火断熱レンガはガス窯などで使用されます。耐火断熱レンガはJIS規格によってA類、B類、C類に分けられます。A類は軽量で断熱性に主眼を置いて作られています。用途は内張り用です。B類はA類レンガに比べ強度が強く最も広く使用されています。用途は主に裏張り用です。C類は圧縮強さを大きくしたレンガで、B類レンガでは強度不足の場合使用されています。耐火断熱レンガは耐火レンガに比べ軽くて柔らかいレンガです。また、アルミナ質が高いので一部を除いて全体として白いレンガです。耐火断熱レンガが軽いのはレンガの中に空気を閉じ込めてある(気孔がある)ため、これが熱伝導率が低いひとつの理由でもあります。

### 【標準JIS並型レンガと長1丁半レンガの寸法】



### 【その他のレンガと寸法】

標準横ゼリ型(Y型)  
Y1: 230 × 114 × 65 (59)  
Y2: 230 × 114 × 65 (50)  
Y3: 230 × 114 × 65 (32)  
半並: 230 × 114 × 30  
ようかん: 230 × 65 × 57  
長2丁: 460 × 114 × 65  
他に縦ゼリ型、バチ型などがあります。

【耐火断熱レンガの表面】  
気孔が見えます

【標準JIS耐火レンガ #34】  
寸法は230 × 114 × 65

### 【用語解説】

・**かさ比重**: 耐火物の重さ(kg)をそのかさ容積(cm<sup>3</sup>)で割った数値をいいます。かさ容積とは内部に有する気孔を含んだ外形の容積をいいます。かさ比重の数値を掛ければ、レンガの重量が計算できます。また、かさ比重1は水と同じということになります。(例: 230 × 114 × 65 ÷ 1,000 = 1,704.3 かさ比重2.0の場合 1,704.3 × 2 = 3,408.6となり約3.4kgということになります。)  
・**圧縮強さ**: 材料の機械的な強さを表すのに代表的なもので、外部からの圧縮力に対する抵抗性を示す数値です。破壊直前の最大荷重を加圧断面積で割った数値を圧縮強さといえます。簡単に言えば、レンガに重さを掛けて何kgで割れたか?ということですが、圧縮強さが > 25MPaと言うことは250kgの重さを1平方センチメートルの面積に対して掛けるまでは壊れなかった、ということです。(1MPa = 10kg/cm<sup>2</sup>)

### 【白レンガと赤レンガ】

白レンガは耐火レンガの古い呼び名であることは文中で述べましたが、赤レンガは「耐火物でない」ことはご存知でしょうか? 赤レンガは耐火性建築・土木材料です。ですから当然耐火度はありません。

## 編集後記「あとかんげん」

柳生家の家訓に「小才は縁に出会って縁に気づかず、中才は縁に気づいて縁を生かさず、大才は袖すり会った縁をもちかす」というのがあろう。これを読んだ時、「これは人脈の広げ方を意味したことばである」と思いました。今回、木村世傑さんと父との過去の出会いを聞いた時、「まさに大才の縁か?」と感じました。

しかし、そんな簡単な意味ではなく実はもっと深いものがあつたのです。考えてみれば、徳川家剣術指南役が家訓に人脈の広げ方を残すというのも不思議なもの。ではどういう意味かという「頭を使っていない人・小才はどんなにすばらしい縁(チャンス)にめぐり合っても気づかない、頭の使い方が並みの人・中才は、たとえチャンスに気づいたとしても十分に生かすことができない、頭を十分使っている人・大才は、どんなに小さなチャンスでもそれを見逃さず最大限に生かすことができる。」というものだそう。

縁を単にめぐり合わせと解釈しても良いと思いますが、見方を変えれば、「小才・凡人も努力すれば大才になれる」と言うことだと思ふのです。